

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き
(2018年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、非製造業が悪化したものの、製造業が改善したため、全産業では19と前回調査から5ポイント改善した。因みに、前回調査では悪化、水準は8を予測していた。

製造業 . . . はん用・生産用・業務用機械、電気機械などが改善したため、全体では26と前回調査11ポイントの改善となった。前回調査では9を予測していた。

非製造業 . . . 建設、卸・小売などが悪化したため、全体では11と前回調査から2ポイントの悪化となった。前回調査では7を予測していた。

先行き(9月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では11と▲8ポイントの悪化を予測。

2. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給(製造業) 「供給」超幅が拡大。

製商品在庫水準(製造業) 「過大」超幅が拡大。

販売価格(全産業) 「上昇」超に転化。

仕入価格(全産業) 「上昇」超幅が拡大。

3. 売上・収益計画

(1) 売上高

2017年度(実績)は、製造業は前年度比0.6%、非製造業は同3.1%の増収となり、全産業では同1.8%の増収となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.2%)、非製造業(同2.2%)とも上方修正されたため、全産業では1.1%の上方修正となった。

2018年度(計画)は、製造業は前年度比4.4%の増収、非製造業は同▲1.0%の減収となり、全産業では同1.8%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率2.6%)、非製造業(同0.5%)とも上方修正されたため、全産業では1.6%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2017年度(実績)は、非製造業が前年度比5.5%の増益となったものの、製造業では同▲23.6%の減益となったため、全産業では同▲16.4%の減益となった。

前回調査との比較では、非製造業(修正率13.7%)が上方修正されたものの、製造業(同▲5.8%)が下方修正されたため、全産業では▲0.4%の下方修正となった。

2018年度(計画)は、非製造業が前年度比0.1%とほぼ前年度並みの計画となる中、製造業が前年度比▲8.2%の減益となり、全産業では同▲5.6%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率27.4%)、非製造業(同1.8%)とも上方修正されたため、全産業では17.6%の上方修正となった。

4. 設備投資計画等

(1) 設備投資額(含む土地投資額)

2017年度(実績)は、製造業は前年度比70.7%、非製造業は同16.5%の増加となり、全産業では同47.5%の増加となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率5.9%)、非製造業(同1.3%)とも上方修正されたため、全産業では4.3%の上方修正となった。

2018年度(計画)は、製造業は前年度比▲29.1%、非製造業は同▲3.0%の減少となり、全産業では同▲20.3%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率10.2%)、非製造業(同9.3%)とも上方修正されたため、全産業では9.9%の上方修正となった。

(2) 生産・営業用設備判断

生産・営業用設備・・・ 製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲10と前回調査比拡大。

5. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業の「不足」超幅は縮小したものの、非製造業の「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲35と前回調査比拡大。先行き(9月予測)の「不足」超幅は更に拡大を予測。

新卒採用計画(全産業)・・・ 2018年度、2019年度とも増加の計画。

6. 企業金融

- 資金繰り判断（全産業）・・・・・・・・・・ 「楽である」超幅が拡大。
- 金融機関の貸出態度判断（全産業）・・ 「緩い」超幅が拡大。
- 借入金利水準判断（全産業）・・・・・・・・ 「低下」超幅が拡大。

以 上